

頭痛・歯の痛みに

第2類医薬品

ピリン系解熱鎮痛薬 セデス®・ハイ

シオノギ製薬

セデス・ハイは、鎮痛作用の強いイソプロピルアンチピリンをはじめ 4 種類の成分を配合することにより、強い痛みにもすぐれた鎮痛効果をあらわします。小型の服用しやすい錠剤で速く効きしかも効果が持続します。



使用上の注意 ……



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故がおこりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい

- (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状をおこしたことがある人
- (2) 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくをおこしたことがある人

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

3. 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないで下さい（眠気などがあらわれることがあります）

4. 服用前後は飲酒しないで下さい

5. 長期連用しないで下さい



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者にご相談下さい

- (1) 医師または歯科医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- (3) 高齢者
- (4) 薬などによりアレルギー症状をおこしたことがある人
- (5) 次の診断を受けた人

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談下さい

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	め ま い
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状がおこることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁などがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がないなどが持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振などがあらわれる。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢などがあらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱などがみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

(裏面につづく)



ぜんそく

息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しいなどがあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者にご相談下さい
眠気
4. 5 ～ 6 回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者にご相談下さい

…… 効能・効果 ……

- 頭痛・月経痛（生理痛）・歯痛・神経痛・腰痛・外傷痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

…… 用法・用量 ……

次の量をなるべく空腹時をさせて、水またはぬるま湯でおのみ下さい。
また、おのみになる間隔は 4 時間以上おいて下さい。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人（15 才以上）	2 錠	3 回を限度とする
15 才未満	服用させないこと	

- 定められた用法・用量を厳守して下さい。

- 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っている PTP シートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出しておのみ下さい。（誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながることがあります）



…… 成分・分量 ……

セデス・ハイは、白色の二層の錠剤で、1 錠中に次の成分を含有しています。

成 分	含 量	は た ら き
イソプロピルアンチピリン (IPA)	75mg	熱を下げ、痛みをやわらげる
アセトアミノフェン	125mg	
アリルイソプロピルアセチル尿素	30mg	痛みをおさえるはたらきを助ける
無水カフェイン	25mg	痛みをおさえるはたらきを助けるほか、頭痛をやわらげる

添加物として カルメロースカルシウム、クロスカルメロースナトリウム、ポビドン、ステアリン酸マグネシウム、結晶セルロース、トウモロコシデンプン、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロースを含有しています。

…… 保管および取り扱い上の注意 ……

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない、涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) PTP シートから出して他の容器に入れ替えないで下さい。
（誤用の原因になったり、品質が変化します）
- (4) 使用期限をすぎた製品は、服用しないで下さい。



…… お問い合わせ先 ……

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記までお願いいたします。
塩野義製薬株式会社「医薬情報センター」
電話：大阪 06-6209-6948、東京 03-3406-8450
受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）

「副作用被害救済制度」について
（独）医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

®：登録商標

製造販売元

塩野義製薬株式会社

大阪府中央区道修町3丁目1番8号